

平成27年度第2回長崎県スポーツ推進審議会会議録（要旨）

<p>開催日時</p> <p>開催場所</p> <p>出席委員</p> <p>出席職員</p>	<p>平成28年3月16日（水） 13：30～</p> <p>セントヒル長崎1階 出島の間</p> <p>小原委員、野田（憲）委員、野田（章）委員、釣船委員、中野委員、松山委員、浅井委員、吉村委員、土岐委員、古川委員、山浦委員、中川委員、太田委員、上村委員、藤田（克）委員、佐藤委員、小関委員、柳澤委員、高森委員、藤田（直）委員</p> <p>山田企画振興部長、 宮下スポーツ振興課長、 スポーツ振興課丸田参事、桑宮総括課長補佐、森係長、加藤係長 園田障害福祉課長、城川主任、国保健康増進課笠田課長補佐 長寿社会課飛田課長補佐、ねんりんピック推進課琴岡課長補佐 こども未来課室野指導主事 体育保健課後藤参事、安藤参事、山口課長補佐 公益財団法人長崎県体育協会 山口課長</p>
<p>会の成立</p> <p>開会</p> <p>あいさつ</p> <p>議長選出</p>	<p>委員20名 出席者20名</p> <p>山田 企画振興部長 あいさつ（省略）</p> <p>会長を議長に選出</p>
<p>協議事項</p>	<p>（1）平成28年度長崎県スポーツ推進基本方針について</p> <p>（事務局） スポーツ振興課及び体育保健課より資料に基づき説明</p> <p>（議長） 意見・質問等はないか。</p> <p>（委員） 最近、組体操の事故について話題になっているが、県として指導や対策について検討しているか</p> <p>（事務局） 文科省が3月末までに指針を出す。 県としては、体育祭における騎馬戦・組体操について今年度4月に通知を行っている。 県内市町において禁止している事例はない。 組体操による事故は発生しているが、骨折や救急車を呼ぶといった大事故の報告はない。</p> <p>（委員） 事故増加の原因は？</p> <p>（事務局） 技の高度化や子どもの体力低下の可能性はある。 組体操については、学習指導要領には記載されていない。 インターネットなどにより、やり方を知り技がより高度化している。</p> <p>（委員） 最近の子ども達は、支持力（支える力）が弱くなっている。</p> <p>（委員） 筋力の低下や、全員で取り組むという点で、子ども達の筋力バランスが悪く、理想とのギャップが感じられる。</p>

(委員)
生涯スポーツの基本方針のなかに「がんばらんば体操」の普及とあるが、効果が期待できるのか
県民体操「がんばらんば体操」普及を見直してはいかがか？

(委員)
「がんばらんば体操」については3種類あり、高齢者サークルなどでは、取り組みやすい「元気アップ編」を普及している。

(委員)
「がんばらんば体操」については、実際にやった方からは好評をいただいている。インストラクターとしても、3種類を対象者に合わせて普及している。見直しではなく、今後とも普及に力を注いでほしい。

(事務局)
インストラクターは約80名いる。
県としては、普及について支援している。
国体終了後、学校行事など取り組んでいるかを調査したところ、国体前より半減している。
今後は、インストラクター等の意見を聞きながら普及に努めていきたい。

(委員)
「がんばらんば体操」については、国体に向けて作ったものであるので、なんらかの形で残していきたい。

(事務局)
ポイントを押さえて取り組めば効果は認められているので、そこを含めて普及していきたい。

(委員)
競技スポーツの基本方針のなかで、「最強の国体チーム」とあるが、国体の年が最強のチームであったことから、表現をやわらかくしてはどうか。

(事務局)
平成28年度時点での「最強」ということで、過去最強を意味するものではない。

(委員)
総合型地域スポーツクラブを今後活性化していくための方策は？

(委員)
活性化には、マネジメント力が必要であると思うが、その地域での行政とのかかわり方で異なってくると思う。全国的に見ても厳しい状況であるが、各クラブが頑張っていかなければいけない。

(事務局)
総合型地域スポーツクラブの活性化については、県体協のクラブアドバイザーや広域スポーツセンターの職員が各クラブを訪問し、経営相談等を実施している。
会費収入で運営していくことが理想であるが、実態としては、会費収入だけでやっていくことは、厳しい状況。
離島においては、会費を払ってまで運動に取り組むということに抵抗があるようだ。
運動に取り組む人の意識の変化が必要だと思う。
県としては、クラブの支援育成に取り組んでいく。

<p>報告・説明事項</p>	<p>(1) 平成28年度各課の主要事業について</p> <p>(事務局) スポーツ振興課、障害福祉課、長寿社会課、ねんりんピック推進課及び体育保健課より資料に基づき説明</p> <p>(議長) 意見・質問等はないか。</p> <p>(委員) 「長崎県障害者スポーツ協会の育成支援」について、「がんばらんば大会」の成果定着のため、協会としては、法人化を検討している。 「障害者スポーツ普及・活性化事業」については、各市町、スポーツ推進委員、総合型地域スポーツクラブ等との連携など、色々な人々、団体との交流により普及していただきたい。</p> <p>(事務局) 健全者と障害者との交流の場を設けたいと思っている。 今後、関係団体と連携を図っていきたい。</p> <p>(委員) 障害者の競技スポーツ(パラリンピック等)について支援を行っているのか?</p> <p>(事務局) パラリンピックに関する支援は抜けている。 今後、業務の枠組み等について検討していく。</p> <p>(事務局) パラリンピックについては、県内企業に支援の動きがある。 平戸市は車いす卓球の振興に取り組んでいる。 県としては、オリンピックだけでなくパラリンピックまで含めたところで取り組んでいく。</p> <p>(2) 長崎県スポーツコミッションについて</p> <p>(事務局) スポーツ振興課より資料に基づき説明</p> <p>(委員) 「スポーツコミッション」という名称の登録商標の兼ね合いは?</p> <p>(事務局) 申請及び許可済み</p> <p>(委員) スタッフの人数、スタッフはどこから集めるのか?</p> <p>(事務局) 今年度より準備している。 事務局は(一社)VVNスポーツクラブに置き、スタッフは4名。</p> <p>(3) 各種競技大会における主な成績について(説明省略)</p>
<p>その他</p>	<p>(委員) 大会等がJリーグありきで押し出されている。県立陸上競技場の利用について、Jリーグとの調整を要望する。</p> <p>(事務局) 国体等の大規模大会については配慮するが、なかなか調整が見つからないのが現状。 V・ファーレンにもできるだけ早めに調整するよう要請する。</p>

閉会

(事務局)
次回の本審議会は平成28年秋頃に開催予定です。

15時30分終了